

2019 KnTU

オペレーションマニュアル 【無線アプリ Zello(試行)】

【審判用】
第 1.1 版

作成者	白石 俊己
作成日	2019年6月4日
最終更新日	2019年6月18日

はじめに

- ・無線アプリ Zello は、スマホにアプリをインストールし利用することで、音声は複数人での会話ができ、それ以外にもテキストチャット、画像送信、位置情報共有などの機能を持っている。
- ・現段階では、“無線トランシーバー”が正式なものであり、本“無線アプリ Zello”は、無線トランシーバーを利用しない希望 TO に試行的に利用してもらう。
- ・TO業務に差し障らない使用を基本とする。無線アプリからの音声は、片耳イヤホンを通して聴く。
- ・まだ試行段階であり、バッテリー量が急に減る、データ通信によりデータ通信料がかかる可能性があるの
で、あくまでも希望者の利用とする。
(参考:9時間使用でバッテリー量 50%、データ通信20数 MB 利用)

目的

- ・試行目的…無線トランシーバーを持たない TO へのレース情報提供による情報の質の格差是正による総合的な審判業務の質の向上。
- ・情報共有…基本、レースや各種目の開始、終了や先頭選手・最後尾選手の位置情報(スタートや周回数)を提供すること、全 TO へ発信すべき情報提供(水温、気温、スタート時間等)
- ・状況報告…緊急事態時には無線トランシーバーを持たない TO が第一発見者の場合は、音声・画像・テキストで本部(本部に Zello 使用者が必要か)に発信し、その後はチーフに任せることが望ましい。

* なお、上記目的は最終形であるので、試行期間は可能な範囲で、情報共有や情報報告とする。

具体的な試行方法 (日産カップ神奈川、大磯ファミリーを想定)

1. 事前準備

- 1)スマートフォントランシーバーアプリ「Zello」をインストール
- 2)アプリ設定
- 3)チャンネル選択
大磯では「神奈川県トライアスロン連合__2019 大磯」
パスワードは「kntu」
* 日産では「神奈川県トライアスロン連合テスト2」
- 4)スマートフォンの満充電、当日はイヤホンを持参

2. 大会における試行方法

★TO業務に差し障らない使用を基本とし、無線トランシーバーを持たないTO向けで、スマホトランシーバー(Zello)の利用希望者を対象とする。まずは基本受話のみとし、大会の流れを聞いてください★

1)試行について

- ①無線トランシーバーとスマホトランシーバー(Zello)の使い分け
 - ・チーフ等は無線トランシーバーを利用し、通常審判業務に利用
 - ・上記以外のTOで試行希望者はスマホトランシーバー(Zello)を利用する。
- ②利用方法
 - ・レースが始まる前に Zello を起動する。その後、バッテリー節約のため、電源 off とする。
(バックグラウンド処理でアプリは稼動中)
 - ・大会運営状況の情報共有等を技術委員会メンバーが発信し、TOは基本受話のみとする。

ただし、リタイヤ情報や事故について Zello を使用して
音声・画像・テキスト発信・位置発信機能により報告することは許可。

2)注意事項

- ①片耳イヤホンの使用とする。(両耳使用やスマホスピーカーを利用しない)
- ②スマホ画面を注視してTO業務を疎かにしない。

Zello アプリについて

1. 機能と画面イメージ

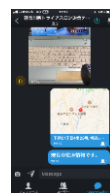
音声の一斉同報、テキストメッセージ・画像の一斉同報、位置情報通知、音声録音・再生、1対1通話



通話履歴表示
テキストチャット
画像送信

発信時刻、発信者、位置情報(*)、音声ファイル再生が確認できます。

(*) 発信者が位置情報送信した場合のみ



位置情報

発信者の位置情報が表示されます。

2. インストールとチャンネル設定 (iPhone の場合)

- ・iTunes App Store 上で「Zello」を検索し、インストールする。
- ・自分のアカウントを作成し、アプリ設定する。
- ・メインメニュー画面からチャンネル画面へ移動し、チャンネルを検索して、「神奈川県トライアスロン連合_2019大磯」を選択する。パスワードは「kntu」

＜問合せ先＞
白石 俊己
shirais6550@ktd.biglobe.ne.jp